

キャラクター名 Charred

プレイヤー名

シンドローム サラマンダー ワークス 工員 カヴァー 死体処理
オプショナル サラマンダー 年齢 20 性別 男
覚醒 渴望 衝動 破壊 初期侵食率 33%
出自 ごく普通の家庭 経験 永劫の別れ 邂逅 秘密

基本値 ワークス ボーナス 成長 他修正 能力値 HP 30
肉体 4 0 0 行動値 4
感覚 0 1 0 (非装備時) 4
精神 2 0 0 戦闘移動 9
社会 2 0 0 全力移動 18

肉体 感覚 精神 社会
技能 SL 修正 技能 SL 修正 技能 SL 修正 技能 SL 修正
白兵 6 射撃
回避 1 知覚 1 意志 3 交渉 1
情報：軍事 1
情報：裏社会 3

武器・コンボ 能力 命中値 G値 攻撃力 射程 メモ
【バーニングナイフburning knife】(武器作成) 白兵 4r+4 6 11+6 <氷炎の剣>+<地獄の氷炎>
【フレアスタックflare stack】(初手コンゼ+フレイムタン) 白兵 4r+4 6 11+6-4 C値-2、白兵攻撃の射程を視界に変更、攻撃力-4
【フレイムスマッシュflame slash】29→目(コンゼ+結合解除) 白兵 6r+4 6 11+6 C値-2、ダイス+2個、装甲無視
@100 【バーニングナイフburning knife】(武器作成) 白兵 4r+4 6 12+9 <氷炎の剣>+<地獄の氷炎>

防具 価格 装甲 回避 行動 メモ

所持品
コネ：情報屋
コネ：手配師

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス
対象 感情(pos) 感情(neg) タイム 消費
申し子 P N
usualの仲間 P 信頼 N 疎外感
家族 P 遺志 N 悔悟

最大財産P: 6 残り財産P: 4

スキル名 SL コスト タイミング 射程 対象 判定 制限 メモ
ワーディング ★ - オート 視界 シーン 自動 -
効果： 非オーヴァードのエキストラ化
リザレクト 0 1d10 気絶時 - 自身 自動 ↓100
効果： コスト分のHPで復活
氷炎の剣 4 3 マイナー 至近 自身 自動成功 -
効果： シーン間武器作成、<白兵>、命中-2、攻撃力+[Lv+6]、G値6、射程至近
C：サラマンダー 2 2 メジャー
効果： C値-2
炎の刃 1 2 メジャー 武器 - 白兵/射撃 -
効果： このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[Lv×2]する
フレイムタン 1 2 メジャー 視界 - 白兵 -
効果： エフェクトを組み合わせた白兵攻撃の射程を視界に変更、攻撃力-[5-Lv(最大0)]にする
アンプリフィケーション 3 5 メジャー - - - Dロイス
効果： あらゆる判定に組み合わせ可、攻撃力+[Lv×5]、1シナリオに3回まで
結合粉砕 5 4 メジャー シンドロームピュア
効果： エフェクトを組み合わせた判定ダイス+Lv個、対象の装甲無視してダメージを算出
閃熱の防壁 5 4 オート 視界 単体 自動成功 ピュア
効果： 対象にHPダメージが適用される直前に使用、対象が受ける予定のダメージを-[Lv+2]d点する、自身を対象にできず1R1回まで
不燃体 ★ - 常時 至近 自身
効果： 燃えないし寒くない
炎の理 ★ - メジャー 至近 自動
効果： 炎を作り出すエフェクト、この効果でダメージを与えることはできない、必要ならRC判定

サラマンダーピュア
Dロイス：申し子
攻撃方法は白兵/至近視界
炎で高熱の大型ナイフを作成し炎を纏って切りかかる
元々は攻撃的な性格、しかし内面の変化があり現在はエフェクトの扱いが昔と変わりつつある
オーヴァード派遣会社「Just as usual」に居る裏社会に生きるオーヴァード
紅い猫っ毛の髪を後ろで束ね、長すぎる前髪で目元が見えない糸目（開眼するタイプの糸目です）
瞳は鮮やかなコバルトブルー
軽い性格で「～ッス」という口調が特徴的、誰とでも話ができるが過去にUGNによって幽閉されたことがあり実はUGNが嫌い
また興味本位や覚悟も無しに裏社会に片足を突っ込んでいようような人が嫌
仲間想いではあるが、他人にはドライな一面があり一線を引いている
ジヤームや死体を燃やし、跡形もなく消し炭にして「無かったことにする」死体処理専門の人物
幼いころ覚醒と共に両親を焼いてしまった過去と自身の破壊的衝動から「生き物」や「生きていたもの」を燃やす事が好きになってしまった（強迫観念のようなもの、今は和らいでいる）
覚醒直後より申し子の能力を持ち、炎の扱いは非常に得意、息をするように火をつける
その為EE《炎の理》や《不燃体》など炎に影響されないエフェクトを所持している
本当は兄が居るが、Charredが生まれた時には既に誘拐されてしまっておりその事実を知らないまま両親を殺害
つい最近まで自分は一人っ子だと思っていた
シナリオを通して自分には血のつながった兄がいる事を知ったものの、会いに行く気は特にはない